

<2013年8月20日>夏号

会のHP「<http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/>」



残暑お見舞い申し上げます。

夏休みという懐かしい響きに、遠い昔の風景を重ねてしまいますが、今年猛暑、ゲリラ豪雨など心配な日々が続いています。皆様のお近くは大丈夫でしょうか？お体のほうもバテていませんか？どうぞご自愛くださいませ。



いつもハート・プラスの会にご協力、ご支援をいただきありがとうございます。今日は、会員の皆様の「生き生きしたお声」をたくさんお届けします。最後まで目を通していただけたら嬉しく思います。

活動報告

【大阪交流会報告】

5月3日、大阪の中之島で、交流会を開催しました。当日は連休中にもかかわらず、障害者の方と健常者の方が、16名参加してくれました。

最初、加藤事務局長から挨拶があり、参加者全員の自己紹介の後、2班に分かれて交流を深めました。

参加された皆様 ありがとうございます。

参加された方の中で、3名の方から感想を頂きました。



～☆★ 「みんなの声です」特集 ☆★～

大阪交流会に参加された皆様からの感想文 (H25・5・3)

～ 京都 長尾さん ～

5月3日、大阪中之島公会堂での交流会に参加しました。

気候も良い時期に交通も便利なところでした。会が始ると16名の参加者は時間を忘れ内部障害者、健常者全員が自分の思いをお話しする事が出来、楽しいひとときでした。

内部障害者は理解の少ない大変な中を生活しているという事実を、確認するたび、ハート・プラスの会の存在、マークの普及の取組み方をもっと話し合わなければならないと思いました。

行政が動いて社会の認知度が高い地域のモデルケースにありますので、どのような活動、働きかけで会の目的が実現されたかを会報誌等を通して詳しく紹介して下さいと皆さん、参考になると思います。

私達、京都ではハート・プラスのポスターを作って800枚位使い切りましたが、ポスターの有効性を実感しております。(ただ手が廻らない為、一部地域しか貼れないのが残念です)

行政だけでなく、地道に草の根運動的な行動も今、必要なのではないのでしょうか。毎日が辛い人も、人との交流で生活に意欲が出る場作りにもなると思います。又、以前、京都で開催したミニ・コンサートのような障がいの有無にかかわらず、人が集る企画を毎年、続けていけば、社会もハート・プラスへの認知、理解も深まっていくのではないのでしょうか。

閉会后、ある会員さんがつぶやかれた「私にできる事は、何かな」という言葉が印象的でした。

～ 大阪 佐藤さん ～

4年前に呼吸器機能障害1級になりました。

バスや電車に乗る時とかに、内部障害とわかる目印が出来たら良いなと色々と摸索していてハート・プラスの会の事を知りました。

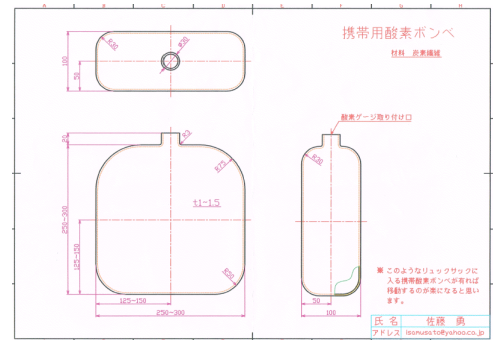
また、5月3日に大阪交流会が有るのを知り初めて参加させて貰った、佐藤です(ブラ性肺気腫(巨大ブラ))

どんな感じかな?と思いながら参加して思った事は、みなさんが一般の人に内部障害やハート・プラスマークカードの事を理解して貰うために、真剣に取り組んでいる事や活動している事が伝わってきました。自分にとっても、有意義な時を過ごせました。

また、ハート・プラスの会に賛同し入会しました。

それと、自分は大正区(大阪市)に住んで居ますが、大正区でもハート・プラスマークカードが出来るようになる方向で進んでいます。また、早く出来るように掛け合っています。

余談ですが、自分もですが酸素を必要とする人が、歩いたり移動する時に楽に出来るように軽くてリュックサックに入る携帯用酸素ボンベが有れば良いなと思い、図面を書き何人かの人に渡しています。実現出来ればと思います。



～ 滋賀 Tさん ～

率直な感想を申し上げます。私は長い間自分の体調・体力に自信がないことから、滋賀の田舎からJRを1時間乗って、大阪の地下鉄を乗り継ぎ、中之島まで行くことができるか心配でした。

もしものことがあったらと思い、妻も同行させていただきました。大変しんどかったです。関西の広範囲の方々が参加され、表向きはどこが悪いのかなと思えるのが本音でした。しかし、皆さんの話を聞いていると色々としんどいめをされていることをひしひしと感じましたし、それぞれの立場でこの会の運動に取り組んでおられること

が理解できました。

5月1日から滋賀も思いやり駐車場専用の証明書(車載用)を発行することとなりましたので、さっそく1番乗りで県庁健康福祉課に行くこととし、1番目に発行いただきました。県の担当者もこれからはよろしく願いますとのあいさつ程度で終わりましたが、今後は自分の体調と相談しながら無理せず、この運動の取り組みに励んでいきたいと思っています。又できるだけ交流会に参加したいとも思っております。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

【ちょっと休憩】道の駅で見かけた、ハート・プラスマーク!



6月に十和田湖から恐山に移動中、休憩のためによった道の駅みさわ で見た光景です。

この地で、ハート・プラスマーク普及に取り組んで居られる方がいると思うと嬉しくて、駐車スペースの前に止めて写真を撮りました。

この旅行で見かけた唯一のハート・プラスマークでした。ちなみに我が愛車にもマークを付けて、行きました。



【ハート・プラスの会のホームページ「街の中のマーク」にも掲載しています】

会員様からの投稿

【市バス車内にハート・プラスマーク!】

～ 伊丹 河南さん ～

私の住む伊丹市でも、議会でハート・プラスマークが取り上げられ、広報紙や市のホームページなどで紹介されました。おかげで通勤等に利用している伊丹市バスの車内にも、このハート・プラスマークのステッカーとマークの意味を紹介するポスターが、この6月から掲示されるようになりました。ホントにありがたい!!

私は学生時代に心臓弁膜症の手術を受け、人工弁に交換したことにより、手帳の交付を受けました。しんどい体をおして電車通学していた時の話ですが、私が乗っていた満員電車の車内で体調が悪くなった女性がおられたものの、座席が空いておらず、座っていた人の中でも若い私に車内の人々の視線は集中。ひどく嫌みを言われ、悔しい思いをしたことを昨日のように思い出します。今でこそ、このハート・プラスマークに代表されるように内部障害の方に対する理解は広がりつつありますが、おおかた

20年以上前にはそんな風潮はなく、まだまだ暮らしにくい社会でした。私の住む伊丹市を含め、関西には数多くの公営・民営の公共交通機関が運行しています。少しでもハート・プラスマークが受け入れられて、すべての人々にやさしい社会になればいいな、と改めて思う今日この頃です。みんなの力で一日も早く実現していきたいですね。みなさま、ご協力よろしくお願いいたします。



取組み状況の報告

【「三ツ折チラシ作成委員会」を開催しました】

～ 代表理事 白井 ～

現在配布している冊子よりも、より配布しやすい三ツ折チラシが必要ではないかとの意見を踏まえ、今年の総会に参加した方を中心に東京にて作成の会合を行いました。寒暖の変化が激しい時期にもかかわらず7名の参加がありました。

会のアンケートフォームの「みなさんの声」に寄せられた意見はどれも納得するものばかりです。その中でどれを掲載すべきか真剣に悩みながら目を通し、意見交換する貴重な時間となりました。新情報でのチラシを作成することにつながり有意義な会議となりました。

5月25日(土曜)



【印象に残った言葉】

「私にできることは、何かな」

会員さんがつぶやいた言葉です。

皆さんも、そう思ったことはありませんか？
ここから、会話がはじまると～嬉しいですね。

事務局からのお知らせ

【ハート・プラスの会ホームページから】

★アンケートフォーム「みなさんの声」に投稿があった件数は、平成25年1月1日から6月30日まで、16件ありトータルで、650件を超えました。

内容を大まかにまとめますと

- 1.見た目が分からないので、電車やバスに座りたいが座れない等、他の人の視線が怖い。
- 2.仕事がしたくても仕事に就けない。
- 3.医療費が負担になる。

等の内容でした。

★体験の投稿欄は、開設してから6月30日まで、3件ありました。

【問合せ等があった自治体等】（4月から6月末日までの状況）

- 5月21日 福岡県 北九州市 保健福祉局 障害福祉課
6月4日 兵庫県 伊丹市役所 障害福祉課
6月10日 神奈川県 相模原市 障害政策課
6月12日 福岡県 福岡市役所 保健福祉局 障がい者部
6月17日 群馬県 北群馬郡 吉岡町
6月19日 愛知県 西尾市役所 福祉部福祉課

【活動予定】

第6回 総会

日時：平成 25年 10月 13日（日） 13時～17時
会場：名古屋都市センター（金山）14階第一会議室
<<http://www.nui.or.jp/gaiyo/map.html>>

第11回 寝屋川ふれあいフェスタ

日時：平成 25年 11月 9日（土） 13時～17時
会場：大阪府寝屋川市立市民センター
<<http://www2.ocn.ne.jp/~katudo/>>

平成25年度「障害者週間」行事（内閣府主催セミナー）

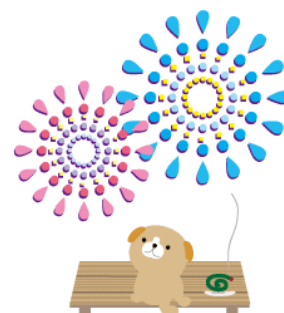
メインテーマの「みんなでつくる共生社会」
日時：平成 25年 12月 5日（土） 13時～15時
会場：こどもの城研修室（表参道駅より徒歩8分）
<<http://www.kodomono-shiro.jp/index.shtml>>

【募集】

身近な活動状況の原稿を募集しています。

ハート・プラス通信に掲載をしますので、300字以内で応募して頂ければ幸いです。

【お送り先】通信編集担当 hirano@heartplus.org FAX 052-718-1581



【配信元】～内部障害者・内臓疾患者の暮らしについて考える～NPO法人ハート・プラスの会

【連絡先】事務局 info@heartplus.org FAX 052-718-1581

